京都帝國大學新聞

月二回發行 五日 廿一日

定價 一部五錢（郵税五厘） 一年一圓（郵税とも）
廣告料 五號活字一行金六十錢 記事中は右金額の二倍 掲載頁の指定は二割増
發行所 京都帝國大學 學友會新聞部 電話上九八〇番 振替大阪七三二八九
發行編輯兼印刷人 入山雄一

學會へ！學會へ！

日本で始めての國際統計會議
九月十五日から貴族院で

今秋九月十五日から廿日まで日比谷貴族院議事堂で國際統計協會第十九回會議が開催され統計學界の世界的權威が多數來訪することとなつた

國際統計協會は一八八五年に創立され、一八八七年第一回會議をローマに開き、其後隔年毎に歐米の重要都市で開かれてゐたが、歐洲大戰に際し一時中絶し、戰後復活、第十八回會議は昨年ポーランドのワルソーに開かれ日本で開かれるのは今度が初めてゞある、同協會は統計學者官廳の統計實際家等二〇〇名を會員定數とし、現在の會長はフランスの統計學者デラトウル氏、副會長はドイツのバビエル、市統計局長のツアーン、米國コロネル大學のウイルコツクス、ベルギーのユーリンの三氏でユーリン氏を除いた他の三氏は今大會にも來朝することになつてゐる

其外に知名な統計學者としては獨逸からはベルリン大學のワーゲマン、ライプチヒ大學のヴユルツブルゲル、ミユンヘン大學のロツツ英國からはロンドン法制經濟學院のベヴエリツチ、國際聯盟のラブデイ、米國からはハーバート大學のパーソンズ、フランスからは中央統計局名譽局長のマーシユ、イタリーからはローマ大學のステバノフ氏等六十餘名等は既に出席の申込があつてゐる、日本においては右會議の準備委員會を設け柳澤保惠伯が會長に擧げられてゐる、議題は未だ決定してゐないが、恐らく、人口統計、經濟統計、社會統計の三部門にわかつて論議せられるものとみられてゐる

今夏ロシアで開く萬國土壤學會へ
本學から小西助教授が出席

三年毎に開かれる萬國土壤學會はことし七月廿日から　革命後のソヴエートロシアに初めて開催されるが、同學會には、本學を始め東大、九大からも代表者出席レポートも送ることになつてゐる、本學からの出席者は、目下在外研究中の農學部小西龜太郎助教授で氏は先月十五日アメリカを發し　目下ロンドンに滯在中だが、學會前にはドイツからロシアへ出向くはずまた東大からは林學科の大政助手が出席することになつてゐるが、麻生慶次郎教授も出席するに至るかも知れぬ、また九大からは、在外研究中の川島祿郎助教授が行くと發されてゐる

同會議は七月廿日から、モスクワ並びにレニングラードで六日づつ都合十二日間の研究發表及び討議が行はれるが、英國側から會期を四年又は五年にするやう提議される模樣である會議後一週間の小エクスカーシヨンと一月の大エクスカーシヨンに分け、月餘に亘つて、革命後公開されてゐない各方面を見學せしめ、農業國としてのロシアの發展ぶりを示さうといふのだ

なほ、本學からのレポートは、農林化學教室の大杉教授の手でとりまとめ、同教室のアルバイトを發表する

は、目下伯林に滯在　研究中の内田亨理學博士が決定してゐるが、その外同學會のため特に出かける人はないらしく、本學からもレポートの提出等のことはない

なほ、内田博士は、歸朝後北海道帝大理學部の教授に内定してゐる

世界動物學會
九月、伊太利で

一九二六年ブダペストで開かれた世界動物學會は、ことしは前回開會以來四年目になるので、來る九月イタリーで開催されることになつた、この學會では、動物學界に於ける種々な研究報告、打合せ等が爲されるが、就中動物の分類方法に關して種々協議されるはずである、我國から同學會に出席する人は

日本學術協會
第六回大會
今年は東京で

學術の綜合的研究を目標として設立された日本學術協會大會は、こ とし第六回大會を迎へ、各帝大所在都市を一巡したので　今年は再び東京にかへり、十一月一、二、三の三日間に亘つて、東京帝大で開かれることになつた、會長は例年の例にならひ　主催地東京帝大の小野塚總長、副會長は岩住教授、

九日來學する ワ教授

一部既報＝精神病學界の權威、ドイツ・ハンブルグ大學精神科主任ウイルヘルム・ワイガント教授は八日入洛、九日來學することになつた　同氏は色々の批評もあるが、とにかく、精神病學界の大立者として、いやしくも斯學に志すもので、氏の名を知らぬものは無い程である

教授は九日來學して、本學の精神科病舍を視察して後、午後四時半ごろから醫學部構内で講演會が開かれる、當日の演題は——「白痴と痴愚」並びに「内分泌腺性精神障害」

中村名譽教授が推されてゐるが、何しろ、期日までに時日があるので、具體的には何等の決定してゐない

デューマ博士講演會

（既報）佛國ソルボンヌ大學教授同國醫學學士院會員ヂョルジ・デューマ博士の講演會は昨四日及本五日午後四時から醫學部病理學教室で「感動の表出」（佛語・幻燈使用譯文付要項配付）開かれるが、興味ある講演とて昨日は醫學部學生その他の聽講者多數あつた

喜びを共に頒つて
本學創立記念講演會
講師は瀧山、野上兩氏

本月十八日（水）は本學創立以來第三十三回目の記念日に當るので、この喜びを學外にも頒つ爲に　恒例の記念講演會をやることになつた、當日は學内全部講義を休み午後三時から、法經第一教室に於て

鐵道と其軌間　工學部教授　瀧山與
文化の頽廢　文學部教授　野上俊夫

と題して兩教授から日頃の蘊蓄を傾けた該博なる講演がある筈で、誰でも聽講出來るが、會場その他の都合から、聽講券を發行することゝなつてゐる、希望者は庶務課宛申込めばよい

田中助教授　理博に

本學理學部助教授田中長次氏は「無水糖について」なる論文を以て博士となる、因に氏は大阪の人で大正十三年本學理學部卒業直ちに本學講師となり今年四月助教授となつた人である

新工學博士二人
「水底隧道應力の研究」「日本古代邸宅の考究」

本學に論文を出して今度二人の新工學博士が出來た

大井上前雄　氏は明治七年生れ、東京の人、明治卅四年本學理工科大學土木科卒業後渡米橋梁の設計製圖製作監督、四十年東京高工教授、鐵道院技師、鐵道技師、下關改良事務所長、現に工務局關門派出所長である　論文題目は「水底隧道の應力に就て」（英文）で内容は含水地層中に於て築造せられ各種外力の作用を受ける水底隧道の壁に起る應力を研究したものである

前田松韻　氏は明治十三年生れ、東京の人、同三十七年東京帝大工科建築科卒業、陸軍、關東州民政署、關東都督府を經て四十年東京高工教授、大正十五年同校講師となり今日に至る　論文題目は「日本古代邸宅の考究」（和文）で二部に分れその一は「寢殿造の研究」（大一五年一一二建築雜誌所載）その二は「過渡期に於ける住宅平面及び其成形狀態の沿革的考究」（昭二年四、五、六、七月號の建築雜誌所載）で寢殿作りは古代ローマ伊、佛、英、獨等に於ける各代表的住宅樣式に匹敵すべき世界的に獨特の吾國上代の住宅なるを以て其の建築平面及び外形の起原と變遷とを說き特徵を示してゐる

臨幸記念碑を瀬戸臨海研究所に
去る一日駒井教授出張して
◇……除幕式を擧ぐ

昨年六月一日畏くも　聖上陛下御臨幸の榮を辱うした本學理學部の瀬戸臨海研究所では、かねて工事中の臨幸記念碑がこの程竣工したので　去る一日午前十時半同所に於て除幕式を擧行、先づ君ケ代の合奏あり、續いて駒井教授總長の祝辭を代讀し、友部和歌山縣知事、浦村長、村會議員の祝辭があり、特に、御臨幸に扈從し奉つた野口侍從からの祝電披露もあつて十一時半式を閉ぢた、當日は村の有志新聞記者等七十餘名、青年團、小學生も參會し特に昨年海士又は船頭として微生物採取等に奉仕した人々も招待した

水族館を公開

尚同所では先月初めから水族館を一般に公開してゐるが同地方の一名物となり五月中の參觀者だけでも三千人の多數に上つたとの事だ（寫眞は記念碑）

竹を尋ねて
五十年前エヂソンが探し當てたのは八幡と判り
近く記念塔を建立

電燈王エヂソン翁が、長時間の點燈に耐へうる電燈フイラメントを完成したのは、一八八一年で、今から五十一年前である、その時使用した竹が、日本産であることは周知のところであるが、その竹の産地はこれまで近畿地方であるとばかりで、詳細は不明であつた、所が、最近に至つて、エヂソン翁より右はヤハタの産である旨回答に接し、これによつて、八幡の竹が電氣發達史上重要な役割を演じたことが判明したので、電氣協會關西支部では、同地に記念塔を建立することになつた、右につき、この企ての副會長といふ顔役の馬場齊吉講師は語る

エヂソン翁の利用したのが、我が京都府下の八幡の竹と判つたのは何より喜ばしいことです、この因縁にちなんで、一つには、エヂソン翁の努力の結果を稱揚する意味と併せて、一つに發明を獎勵する意味と併せて、八幡の人目をひく場所に記念塔を建てることとなつたのは、非常に有意義なことと思ふ、未だ電氣協會から、詳しい報告がないから、具體的な話は出來ぬが、可及的零細な資金を廣く全國から集める方針です

金曜講演　今度は駒井博士

金曜講演　戸田教授の「性病と結核」は好評のうちに三十日終講となつたので明六日（金）から毎金曜日約三回にわたつて理學部教授駒井卓博士の「雙兒の話」と云ふ興味ある講演が引續き行はれる、幻燈を使用するから一層わかりよいだらう　場所は何時もの通り法學部大講堂

澤村教授逝く
往年文庫で鳴らした詩人胡夷
東洋美術史の權威

文學部澤村專太郎教授は昨年末から糖尿病で大阪赤十字病院に入院加療中のところ病勢革まり五月廿三日午後八時五十三分長逝した、享年四十八

明治十七年一月東京府に生れ、三高を經て、四十二年本學哲學科を卒業、大正三年迄東大大學院にて「近世美術史」を研究、東京美術、東京女高師を經て八年本學助教授、十二年美術史研究の爲め二箇年間支、佛、米に留學、同年ロンドン、パリ、ベルリンに在る中央アジヤ壁畫に關する調査囑託、昭和四年十一月國寶保存會委員となり、五年四月哲學、哲學史第二講座を分擔し、逝去の直前教授となつた

今も唱はるゝ三高寮歌—「紅もゆる丘の花」は氏の作
◇……濱田青陵教授は語る

三高寮歌「紅燃ゆる」は氏の作である、私は東京で國華社の編輯に從事して居たが其の後本學に赴任し日本美術史を擔當する樣になつた、氏はその後を引き受けて國華社の編輯をやり、私が洋行する樣になると又後任として本學に赴任し日本美術史を擔當する樣になつた　斯る點で僕とは非常に關係が深い、しかし近年は餘り親しい交際はなかつた

氏は一見詩人に似合はぬやうな仕事——資料の蒐集や細かい研究——を熟心にやつた、この點は氏の學者たる所以でもあつた——殊に女子教育に興味を持ち、が詩人としては不得策だつた樣にも思はれる、模寫を熾んにやられ、特にアジャンタ壁畫模寫の外中亞で發見された壁畫の模寫等は、吾々學友の感謝する所である、此等の材料はいづれ整理發表される筈であつたらうが遂に實現を見なかつたのは殘念である

又氏は美術界の指導者としても大きな功績を殘してゐるその點詩人であり美術界の人と見らるゝが斯く見らるるのを希望してゐた樣でもある、文人畫をよくし病輕き時は病床で繪筆をとつてゐた、教育講演等をして其の方面に於ても崇拜者を持つてゐた

纏つた著書の無い譯は
羽溪助教授談

澤村君と僕とは同期で、どこまでも氣鋒の鋭い詩人であつた、國華社十年間の研究は氏をして一躍東洋美術史の大家たらしめた、殘念なことには、まだ纏つた著書の殘つてゐないことだ、これは其の鑑定眼の鋭かつた爲に多方面から鑑定を依賴されたのと、又さなきだに尻の長い畫家との交渉が多かつたので時間を取られた爲めでもあらう、生前印度美術に就て執筆中であつたが上梓するに到らなかつたのは惜しい、大英博物館東洋美術部のビニオン博士來朝の時案内役となり一週間ものべつに働いたのが氏の死因だと云はれてゐる、これをもつても氏の熱中癖がしのばれる（寫眞は生前の澤村氏）

懸賞映畫小說選者四氏きまる
應募は本月末日までに

さきに本紙が發表した懸賞映畫小說の選者が決定した、即ち、學内から文學部の成瀬無極、植田壽藏の兩氏、學外から、新興帝キネの新人鈴木重吉監督と同企劃部の渾大防五郎の二氏から快諾を得た、之等の選者に關しては今更喋々するまでもなからうが、新しき內容を盛る映畫の選者として最も適任者であると信ずる

應募規定

一、讀物として興味あるもの、ストオリー風のものを望む
一、主題は學生々活或はスポーツに限る
一、長さは四百字詰原稿用紙で廿五枚乃至卅枚程度
一、〆切は六月末日
一、應募資格は官公私大學及び高等學校學生に限る、合作も差支へない
一、匿名は自由なるも原稿には必ず所屬學校、學部、氏名明記のこと
一、賞金は當選一篇五十圓
一、發表は本紙八月五日紙上
一、原稿は一切返却せず、當選作の一切の權利は當部へ移るものとする
一、照會は端書封入のこと
一、右規定に違反するものは當部に於て責任を負はない

總ての御宴會 御會食
御用命は是非 三階大廣間（百疊敷）
御註文狹適呈
本店・京都市木屋町松原北
支店……京都四條河原町南
鮒鶴
電話（下）六九〇番

その後の就職統計
經濟學部

本年度卒業生中就職者の數はおひく增加して五月末までの狀況によれば本紙前號で報じた數字より著しく增えて—
▲官公署七▲教員四▲銀行會社等七七▲大學院學生二一、計一

紀南の名勝瀬戸で生物學の臨海實習
七月二十二日から卅一日まで

和歌山縣にある理學部附屬瀬戸臨海研究所では今夏七月廿二日から卅一日まで海產動物及び淡游生物の形態、發生及び生態に關する臨海實習會を開催する、其の要項は
▼資格　成るべく動物學の免狀を有する男女中學教員
▼講師　駒井教授、赤塚助教授
▼助手
▼人員　二十五名限り
▼手續　履歴書に在職者は校長の承認書と三錢郵券を添へ六月十五日迄に理學部動物學教室內幹事宛申込むこと
▼聽講料　不要、但し實習材料藥品費として十圓を許可通知を受けたるとき前項幹事宛小爲替にて送金のこと
▼實習要具　顯微鏡、解剖顯微鏡、解部器械、筆紙等は各自必參のこと、其他實習に必要なる硝子器具類等は貸與
▼宿泊　期間中男子の希望者に限り所內寄宿舍に宿泊せしむ（含費食費計凡十五圓）
▼其他　問合せはすべて右幹事宛とし通信料添付のこと

來る八日から親切週間
附屬病院で

附屬病院では、來る八日から十四日まで一週間の間親切週間として全員總出で親切第一のサービスぶりを發揮するが、同週間病院關係者は各マークをつけ、廊下の各所にはポスターをつるして大童の宣傳をやる

農林經濟

○九名　の教室でも本紙前號の統計では、わづか四名しか就職してゐないとになつてゐたが、教授連總出の努力に非常にすばらしい成績を示し、十五名中十四名まで、就職してゐるから九四％の就職率未決定の一名も目下交涉中だから早晩全部片づいてしまふだらう

即ち約四割の就職率を示し相當の成績を擧げつゝある、尙未だ事務室宛に通知の來ない者で職に就いてゐる者も可成りの數に上る事と思はれる

風車

○
正貨が出る！正貨が出る！田舍娘の俄化粧だ、生地は爭はれね

○
鐘紡の爭議解決、勝負は五分々々と西尾さんうそぶく、で、一體いくら儲けたんです？

○
同じ八幡の竹でも海を渡れば電燈になる、船にのらなきや、ステッキ位が關の山

○
本學對比島サッカーは六對一、比島對關學が三對一、だから關學の方が強い——といふことになりますかなア

本號四頁

法學博士 鳩山秀夫著
新刊
民法研究（第一卷 物權）
菊判三〇二頁 定價二圓二十錢 送料書留廿七錢
曩に「民法研究」第一卷（總則）及び第三卷（債權總論）を公にした博士は、其後物權法に就き新學說、新判例の見るべきもの多きに鑑み之を參照斟酌して茲に論文集としての第二卷「物權」を發表せらる。法學界に於ける博士の地位に就ては喋々するを要しない。今本書の公刊を告げて、大方の淸鑒を待つ。尙第四卷（債權各論）も近刊の豫定である。

民法研究（第一卷 總則）三・〇〇
（第三卷 債權總論）三・五〇
增訂改版 日本民法總論　鳩山秀夫著　四・五〇 二七
增訂 日本債權法總論　鳩山秀夫著　三・二〇 二七
訂增 日本債權法各論　鳩山秀夫著　上三・六〇 下三・〇〇

東京帝國大學教授 我妻榮著
新刊
民法總則
菊判七〇二頁 定價四圓五十錢 送料書留廿七錢
現代の民法は個人主義的民法といはる。然し近時資本主義的弊害によつて又資本主義の醱成された團體主義の理想は、この民法の根本理論の修正を要求しつゝある。本書はかゝる現代の要求に應ぜんと、個人主義的民法の根本原則を說明し、此根本原則と各制度との交渉を明にして以て民法解釋上に新生面を展開せんとするもの。大方の淸鑒を待つ。

東北帝國大學教授 中川善之助著
新刊
略說 身分法學
親族相續法の社會法律學
菊判三〇四頁 定價二圓三十錢 送料書留廿七錢
民法親族篇・相續篇の解釋適用を論ずると共に規律對象たる婚姻・家族等の關係を社會學的に考察して、公法に於ける國家學、財產私法に於ける經濟學の役割を、身分私法の範圍に於て併せ果さんことを企圖した積りである。或は斯る意圖のプログラムだといふ方が當つて居るかも知れない。著者は自分のプログラムを先づ發表することに依て本書のプランに着手する以前、そこに在り得べき誤謬の一つでも多くがプログラムの中に指摘せられんことを心から希望してゐる。（著者）

訂改 親族法大意　穗積重遠著　一・四〇 一八
相續法大意　穗積重遠著　一・八〇 一八
民法講話　末弘嚴太郎著　上二・二〇 下二・二〇

東京帝國大學教授 田中耕太郎著
增訂改版 會社法概論
菊判七四二頁 布裝函入 定價四圓五十錢 送料書留廿六錢
本書は會社法の基礎理論及各個の規定の立法理由を會得せしむるに最好適の教科書とし概論として刊行以來好評嘖々たるものあり。爾來三ケ年版を重ねる每に小改訂を加へ來たりしものであるが、此度全般に亘て大改訂を加へ、尙三百頁の增補を試て益々完璧なるものとなした。今や我國に於ても商法の改正が當面の問題となり之に關し公私の委員會が組織せられつゝある時に當り本書の改訂版が、會社法の指導原理の理解への好指針となる事多大なるものがある事を信ずる。

商法研究（第一卷）　田中耕太郎著　四・八〇 三六
商法大意　松本烝治著　三・八〇 二七
株式會社　佐藤雄能著　四・七〇 二七

出版目錄 文庫目錄 進呈
東京神田一ツ橋通
振替東京二六二四〇
電話九段 二〇二・二八・二〇八 二〇九・二六六

矢澤米三郎著
白馬岳
附 登山日程及登山心得
定價 二・六一 送料 七 挿繪
白馬岳は、大雪溪、氷河、高山湖、珍奇なる高山動物又は氣象學その他の有ゆる高山的特質の寶庫である。實に我國山岳中の代表として登山家の人氣を一身に鍾めてゐる。著者はこの美しい寶庫を開き、この汚れざる樂園を、學的に有ゆる點に亘つて最も詳細に紹介せられた。本書は案內書たり得るはもちろん、本書を一讀せらるゝならば一般的高山知識にも通曉せらるるであらう。

新刊
矢澤米三郎 河野齡藏 著
日本アルプス
附 登山案內
定價 二・八〇 送料書留 三十八 別刷挿繪 九六圖
信頼できる最も新しい案內書
改訂增補
山岳先覺者の間に本書は、歐洲アルプスに於けるベデッカアの「瑞西案內記」と共に超越的獨步たる賞讚を博し得た。爾後山岳熱の勃興躍進に伴ひ年々改訂增補に依てその不備を補ひ新なる研究資料を提供して來た。然るに著者の熱烈なる學的良心は姑息なる增補にて滿足する能はず、竟に舊稿全部に亘つて殘余なき大改訂を試み且寫眞版は大部分を新なるものに替へると同時に枚數を增加し新に白馬日岳と登山里程及其の所要時間とを加へ、更に登山地圖は最近の現狀に合せて最新の事實に吻合せしめ「登山心得」には近年登山事故の頻發に鑑み地形の研究氣象調査、凍傷手當等の事項を詳說し、以て研究と案內との兩方面を通じての完璧を期した。

矢澤米三郎著
上高地
定價 二・二〇 送料書留 十八 別刷挿繪 六三圖
所謂「日本山谷の風景は日本アルプスに大成し、日本アルプスの風光は此上高地に縮寫されて居る」の評は決して溢美でない。上高地が日本新八景の一に推され、國立公園の候補に擧げられ、天然記念物の保護區域に指定されたのも寧ろ當然過ぎる程當然である。此小冊子は固より簡明を主としたので、決して上高地を盡したものとはいへぬが、遠近憧憬の刺激ともなり、靑年夢寐の幻影ともならば、予の所期は聊か酬いられたものと云へる。（序文より）

再刷
大島亮吉著
山—研究と隨想—
菊判 定價 三・〇〇 送料書留 廿七 五〇頁
（前略）限り無き憧憬に何日も淸新なる努力を以て、語なき山岳の感興を、癈怨を、喜悅を、そして悲愁を美しい音樂として私等に讀聞かせた。君の眼に映ずる山は生命があつた。そしてその生命を決定的な力で把握して彫刻した。而もある時には纖細優雅なる情操を以て愛撫するやうでもあつた。全く山は君の生命でもあつた。（後略 槇有恒氏序文より）

三刷
高山研究　河野齡藏著　二・八〇 二七
雷鳥　矢澤米三郎著　一・八〇 一八
雲—雲の圖及解說—　藤原咲平著　五・〇〇 二七
氣象學講話　岡田武松著　二・五〇 二七

岩波書店

我國正貨流出の方向

住友銀行本店支配人　大島堅造

一

我國が去る一月十一日金輸出を解禁してから已に四箇月餘の日子を經過したが、其間に約二億千萬圓の正貨が流出するに至つた。然かも其殆んど全部が米國へ行つたのである。普通の理法に從へば、正貨が流出するのは相手國との國際貸借勘定が支拂超過になつて他に適當の決濟手段の無い場合に限り起る現象である。從つて印度であるとか、濠洲であるとか、或は英本國に對して我國の正貨が流出したならば、それは一般の理法に合し何等疑問を挿む餘地が無いのであるが、我國が斷然、受取勘定の地位にある米國に對してのみ流出するに至つたことは考慮の價値ある問題である。詳しく云へば我國は米國に對しては貿易上年々著しい輸出超過を示して居て、昭和四年度に於ては其額は二億六千萬圓に達して居る。其外、在米移民の內地送金は年により多少の相違はあるが三四千萬圓を下ることは無いと信ぜられるから出超額を合はせて三億圓位の受取勘定となつて來る。その內から米國で發行した公社債の利息や、內地に投資せられた米國資本の利潤引上げ等を合計一億圓と推算し、差引くと正味受取るべきバランスは二億圓程になつて居た筈である。それにも關せず我正貨は米國に吸收された。因て私は此互に相矛盾せるが如く見ゆる現象に就いて實際上の立場から少しく說明を試み、國際金融上に於ける我國の地位を理解する一資料としたいと思ふ。

二

凡そ一國の正貨は、次の五條件を最も多分に具備する國に向つて流出するものと見て誤りないと信ずる。

一、金本位國であること
二、金の自由市場が存すること
三、國際金融の中心市場たること
四、貿易若くは資本關係密接なること
五、交通關係が良好なること

私は此五標準を基礎として我國四圍の諸國に就て檢討を試みることとする。先づ第一は支那であるが我國と支那との貿易關係は暫く別問題とするも支那は銀本位國であるから最重要なる資格を持つて居らぬ。尤も支那の本位制度に關しては、先般任務を終了し歸米せるケムメラー・コムミッションの進言もあり、最近の當局の方針の現はれから察しても將來は金本位制に向つて進むことは略々推測出來るが、今の處では銀本位國たることは爭はれない。之れ丈けの事實を以て、支那は我國から正貨を國際貸借關係上の理由により受取る資格はないこととなる。尤も商品として金貨を持出す場合は別である。第二には蘭領印度に就て考へて見たい。此地方は本國同樣金本位制が實施せられて居り、我國との貿易關係も相當密接なことは申す迄もない。そしてバタヴイアにはジヤバシエ・バンクと云ふ中央銀行があつて規定の價格を以て金を買入れ又紙幣の兌換も自由となつて居るが國際金融上から見れば和蘭本國の一分派に過ぎないから到底我國の正貨を多額に然も正規に吸收する資格を持つと云ふとが出來ない。第三に濠洲との關係はどうであらうか。濠洲は昨年十二月四日新に中央銀行たるコムモンウエルス・バンク條令改正せられ金輸出は同行の許可制度の下に置かるゝに至つたが、依然として金本位制を維持して居て我國へは每年多額の羊毛を輸出し昭和四年度に於ては其額約一億圓に達し貿易關係に於ては我國は八千八百五十萬圓の入超であつた。故に我國から正貨を受取り得る資格を相當備へて居るのであるが、交通關係が頗る不便で船便が稀である許りでなくミントの所在地たるシドニイ又はメルボルン迄の航海日數に卅日乃至卅六日を必要とするのは第一の障害である。更に國際金融的に之を見れば、濠洲は貿易上英本國に對しては年々巨額の出超であるが、資本關係に於て結局支拂超過となつて居るので、自國へ正貨を受取り再び倫敦に再送する代りに最初から倫敦で支拂つて貰ふ方が、一層便利且つ經濟的である故に實際問題として我國が濠洲から輸入する羊毛の金融決濟は大部分が倫敦で行はれて居る實情である。斯樣な次第であるから我國の正貨がノーマルの狀態の下に於て濠洲に向つて巨額の流出を生ずるが如きことは考へ得られない。第四は英領印度に就て說明をすることゝする。印度は昭和二年三月二十二日金本位制度採用案が議會で可決せられ實施せられて居るから外國から正貨を吸收する最要條件を具備して居ることは申すまでもない。即ちボムベイのミントでは外國金貨や金塊を純金目方一「トーラ」(三匁一一〇三五に當る)に付二十一留比、三アンナス、十パイスの割で何程でも買取るばかりでなく、士人が金を裝飾用として愛好し或は富の貯藏の手段に金塊を用ゐて居るからミントとは全く別に金の廣い市場もある。それに加ふるに、印度は我國に對し綿花を每年二億圓內外も輸出し貿易上常に我國は入超となつて居て昭和四年度は其額九千萬圓に達したが我國との關係から船便は都合良くないが我國の正貨を吸收する諸條件は濠洲よりも遙かに多分に有して居るのである。かの大正六年我國の正貨が約一億圓程印度に流出したのは全く此狀況に基くのであるさりながら印度は貿易及び資本關係に於て全く英本國と不可分となつて居るから印度より買入れる商品の代金決濟は倫敦と孟買、若くはカルカッタを連結する爲替の大道を利用することが最も經濟的である。故に大正六年の場合の如く戰爭等特異の原因によつて倫敦から印度へ送金する道が圓滑を缺くに至らざる限り、我國から正貨が直接に印度へ流出することは滅多にあり得ない事である

三

斯かる次第であるから、我國から正貨を吸收するのに最も偏適なる地步を占むる國は米國より外には無いことゝなる。因て私は少しく具體的に其實情を以下述べて見たい。

第一に米國は最も完全なる金本位國であつて日本との關係に於ては桑港に大規模のミントを有して居る。そして合衆國法第六四六五條により百弗以上の價格を有し、品質特別に粗惡ならざる金塊外國金貨を含むならば米國人と外國人たるを問はず金貨に何時にても鑄造して貰ふ權利を與へられて居る。夫れには別に定むる規則により鑄造實費を支拂へばよろしい。實際問題としてはミントは日本金貨の場合は、それを搬入すると直ぐに目方を量り日本貨幣法の規定による純分千分の九〇〇の割合で純金の目方を算出し一「オンス」(八匁二九四二七)に付二十弗六七一八三四にて買取つて呉れるのである。規則では納入金貨を全部溶解して實際の目方を得たる上代金を拂ふのであるが、便宜を計り前記の方法で算出せる代金の九割九分を直ちに準備銀行宛小切手で渡して呉れる。故に時差の關係を考慮しても、小切手を貰つた時から數時間の內に三千哩餘を距てた紐育で其資金が利用出來ることゝなるのである。準備銀行は無手數料で桑港から紐育へ電信で送金して呉れるからだ。

第二は交通關係が極めて宜しい日本と桑港間は日本郵船と米國のダラー・ラインの客船が定期航路を開いて居り普通は橫濱から十三四日で桑港に達し得るが日本郵船の三優秀船淺間龍田秩父の三隻は十二日半位で到著し得る。四月二十五日處女航海に就いた龍田丸は橫濱桑港間を十二日八時間五十三分で走りレコードを作つた。此外に橫濱から晚香坡又は「シアトル」航路船により鐵道を利用して桑港へ輸送する方法もある。此航路に從事する汽船の內で一番早いのは加奈陀太平洋鐵道會社所屬のもので、エムプレッス・オブ・カナダ號は橫濱から金貨を積み出帆後十一日十一時間で桑港へ屆けたのが記錄になつて居る。因に鐵道の所要時間は約三十時間である尙同社船の外に、日本郵船大阪商船、ダラー・ライン等もシアトル航路を經營し夫れを利用するに於ては、鐵道の運搬を含め橫濱から十五日乃至十六日位で桑港へ金貨を到著させ得るのである。以上の通りで便船も頻繁に出帆し且つ距離の割合に速かに桑港に到達せしめ得ることは、正貨積出には非常の好都合と云はざるを得ない。

第三は紐育は倫敦と共に世界金融及爲替の二大中心市場であるダラー貨は、米國の國際金融上に有する絕大なる力により信用が殆んど絕對と云ふも不可なき程であるから、日本を初め、いかなる國でも紐育に資金を集積することにより世界中のあらゆる國に、最も便利に且つ經濟的に支拂決濟をなすことが出來るのである。故に我國丈けの問題として見ても、英國に對する入超其他の決濟は勿論、印度棉花濠洲の羊毛代金に至るまで大部分が紐育を經由して支拂を了せられて居る。即ち紐育に集めた資金は紐育と倫敦を結ぶ爲替取引上、世界最大の大通を經て倫敦に回付せられ、それからそれへと向けられて最後の決濟が終了するに至るのである。以上の通りで我國の正貨が米國に積出さるゝのは米國を通じて我國のあらゆる對外債務を最も經濟的に決濟するために外ならない。從て米國に對する貿易關係などとは全然別問題であることが明瞭することゝ思ふ。(昭和五年五月二十三日)

フイラメント材料を求めて
―エヂソン翁苦心譚―

日本の竹に因んでエヂソン翁の記念塔が八幡に建立されるに際してエヂソン翁がフイラメントの材料を世界に探求した苦心談を述べることは誠に意義深きことと思ふ。

一八七八年エヂソン翁が電球に就て硏究を始めてより其のフイラメントの材料として種々の物體を試驗した結果、高度の眞空法に成功したことに依つて一八七九年秋には遂に白熱電球にカーボンフイラメントを使用して其れを實用化した。カーボンフイラメントの材料としては、その品質に就て數多のものが試驗された、吸取紙、薄葉、各種板紙、各種絲、椰子の毛杉及モミヂの削屑、キルク等々、一々擧ぐるに暇がない。植物性のものは炭化して作つた電球の種類炭化して電燈に取付けて試驗した結果、從來の何れの材料よりも遙に優れたる品質であることが判つた。更に顯微鏡下の試驗の結果、此の材料は理想に近いといふ確信を得たので其竹を購入する爲め使者を日本へ送ることに決したのである。第一回の使者として選ばれたのはムーア氏であつた。彼は一八八〇年の夏紐育を出發した。竹の産地として著名な支那及日本に向ひ、種々の標本を蒐集する爲め都會地を避けて田舍に入り込み、竹の研究に專心して一年から五年迄の竹を區別してその纖維の優劣を比較試驗した。澤山の標本がエヂソン翁の許へ送られて、研究室では尙一層嚴密な試驗が行はれた結果、日本産の或種の竹がフイラメント材料として最も適してゐることを發見した。而して日本に滯在中のムーア氏に此種の竹を栽培して送附する樣に命じて來たので、彼は日本の一百姓の助けをかりて、その百姓が竹の栽培に妙を得て居る處から竹の品質を次第に改良して行つた。(此地が日本のヤハタと記してある)

此の竹を使用してエヂソンランプフイラメントを製造することが多年續いたが、日本産のものに比してより理想に近い竹に類した纖維質のものを他に見つける爲めに世界の各所に向つて多數の使者が送られた。

南米ブラジルへはブラウネル氏が一八八〇年の末に出發し、パラに上陸した後アマゾン河に沿うて支流は獨木船を利用して遡り、未開の森林や沼地は徒步に依り未知の大叢林へ約二百哩も分け入た。棕櫚(Palm)の纖維が比較的フイラメントの材料としての條件に近いことを見出して米國へ送つた。キューバ、ジヤマイカ島及びフロリダ地方の傾斜地及沼澤へ向つた使者からも標本は集まつた。然し何れも日本の竹には及ばなかつた。

かくして日本産の竹は炭素フイラメントの適材としてエヂソン電球製造に利用されつゝあつたが、一方、より完全な材料を探求する努力は斷えなかつた。エヂソンが如何にその材料を得ることに熱心であつたかを知る爲めに、今少し話を進めやう。

さきのブラウネル氏の次に南米で彼の未だ手をつけてゐない地方に向つて二人の使者が一八八七年紐育を出發した。一人はアマゾンの上流イクキトスを中心として、ペルー、エクアドル、コロムビヤを探求し、他の一人はモンテヴイデオに上陸してウルグアイ、アルゼンチン、パラグアイを通過してブラジルに出た其の間兩人は二度も熱病の爲めに倒れ、裏切者の案內者に遭遇し、時にはインデアンの襲擊を受け、又猛獸、毒蛇の爲めに犧牲にならんとし、洪水の爲めに危險に陷り、或る時は長日月の間滿足な食事もとらず、衣服も纏はず凡らゆる艱難と戰ひ盡し尙且つ勇敢な旅行を續けて漸くにして米國に歸着した。此地方での收穫は高さ七五乃至一〇〇呎、直徑六乃至九吋の大小樣々の竹であつた。當時の紐育の新聞は彼の興味ある探檢談に就て筆を揃へて讃辭を惜まなかつた。

ジエームス・リカルトン氏はエヂソン翁の企てた材料探捜の最後の使者として選ばれた。彼は學校の敎師で有名な旅行家であると同時に自然科學に就ては熱心な學徒でもあつた。出發に際して彼は學校の兒童を全部集め停車場を橫切つて學校の近くに一つの線を引いて「私は此線から東へ向つて出發して世界を一週した後もし運よければ此線の西方から歸つて來て再び皆樣にお會ひ出來るでせう」と云ひ殘した。豫定通り航海は進み、英國からスエズ運河を通過してセイロン島に到著した。其處では草の王(King of Grasses)と呼ばれる竹の一種が豐富であつた。新しい標本をもたらした士人には賞與を與へる樣にして一週間の中に他國では見られぬ珍らしいものが約百種も集まつた。印度に渡り、ヒマラヤにも登山して標本を集める爲めにあらゆる苦心を體驗した。ビルマに於ては此度の旅行中最も優位の材料と云はれた叢に生成する巨大な蘆の樣なもので、高さ一五〇呎、徑十二吋もあるジヤイヤント・バムブー(Bambusa gigantia)を多量に見つけることが出來た。マレー半島を去つて愈よ歸路の半球に入り次に訪れたのが支那と日本である。南支那の廣東竹は支那では普通の野菜とされ又その筍は料理に使はれてゐる。然し支那の竹には感心するものを見出さず、最後に日本に渡つた。日本産の竹は東京博物館に多種多樣の標本が完全に蒐集分類されてあつたので、其處で標本を貰ひ試驗も出來たので役目は簡單に果された。かくて、太平洋を越え、拍手に迎へられて再び兒童の引いた線を西から跨いで遂に地球上一周線を無事完成したのである。

エヂソン翁自身及忠實な使者によつて續けられた最初から最後迄のフイラメント材料に就ての研究及探捜は其全費用、約二十萬圓を要したといふことのみでなく、又エヂソン翁の確固たる決心及非凡の性格の一端を說明したことに於て有名となつた。かくて約九箇年の間竹は總てのエヂソン電球フイラメントの材料として利用され、十九世紀の始め竹の代用品が發見されて竹が見棄てられる迄、實用上の價値を保持してゐたのである(和田生)

CORONA PORTABLE TYPEWRITER
コロナハ携帶用ノ優秀器
英、佛、獨、露語、數、化、工學用凡テ完備

東京銀座 黑澤商店
京都寺町三條 文適堂 「一〇〇〇番」
¥135.

新カント派
刑法學の展開
久禮田益喜著「刑法學概說」

瀧川幸辰

臨時法制審議會は刑法の改正事業に從事してゐると聞く。數年前から、何人かによつて、何處からともなく、刑法改正綱領、刑法改正草案本文と稱するものが、新聞雜誌に掲載されてゐるこの發表にして誤謬がないとすれば、刑法は或る傾向に向つて改正されつゝあることをわかる刑法の社會防衛的役割の高調といふ方向を目標としての改正がこれである。この役割は、從來の刑罰の外に、それと並んで謂ゆる保安處分(保護觀察、保護監督、居住制限、不定期刑など)を新設することによつて最も鮮やかに演ぜられる。この改正方針こそ、わが刑法改正草案だけの特色ではなく、實は諸國に共通する改正の指導思想であるのだ即ちわが國の刑法改正運動も犯罪に對する社會防衛インターナショナルの一環を成すものである。

刑法のこの改正時代において、待たるゝものは刑法の良書である東京大學の牧野敎授の「日本刑法」と、司法省の泉二刑事局長の「日本刑法論」とが、わが國の讀書界にもてはやされた年月の、如何にも長かつた事實によつても、久しい間、わが國の刑法學界に、これといふ目星しい著述の出なかつたことを證明する一つの材料になる大正十五年から今日まで、引續いて刊行されつゝある本學の宮本敎授の「刑法學綱要」、「刑法學粹」はその間における、唯一の力作であるといふたところで、異議を挾む何人もなからうと思ふ。兎に角、近年の刑法學界は著述の少いといふ、あまり自慢にならない特色をもつてゐるのだ。

今度、公にされた東北大學の久禮田敎授の「刑法學概說」は、この學界の單調を破つた。著者には先きに「日本刑法總論」の著述がある。しかし新著はこれと關係なく書かれた、全く新しいアルバイトである。

○

著者は「はしがき」の冒頭において、「批判的立場」に立つて刑法學を論ずべきことを宣言されてゐる著者はいふ――

「それは(批判的立場)ウイッシエンシヤフツ・レーレの立場でありユリスプルデンツの立場でありスツラーフレヒツ・ウイッシエンシヤフトの立場である吾々は此の立場に於てユリスプルデンツが、クルツーア・ウイッシエンシヤフトであることを知り、またスツラーフレヒツウイッシエンシヤフトが倫理的なものと社會的なものとを、法律的に調和する科學であることを知つた。」――

即ち――

「刑法上の問題は「刑法學」の立場から批判せられなければならない。然らばその批判の方法は如何?曰く、刑法學に特有な科學性を規準として「理說」の限界を定め、また「政策」を制限し、更に進んで刑法學に特殊の科學的地位に省みて「理說」の理論的基礎並びに周圍を究め、また「政策」の相互的並びに延長的關係を明かにするにある。」――

から論じて批判的立場からの結論の例として、(一)主觀主義の所謂ゲジンヌンクが違法性の法律的本質を論ずるに不十分なこと、(二)條理違反が違法性の法律的本質を說明したと解するのは早計に失すること、などを擧げられる。

私は著者の「批判的立場」に對する私の批評を控へたい。私は私の言葉を以て著者の「批判的立場」の意味を明快に說明し得ないのである。著者の立場と、私の立場との間に、かなりの距離があるがため著者の氣持にピッタリと寄添ふことが出來ないからであらう。

○

著者は、(一)序說において、法律、犯罪、刑法の學派、刑法改正運動、著者の立場の大體を說明し、(二)第一編緒論において刑法學、刑法理論、刑事政策、刑法の進化、刑罰法規を詳細に論じ、(三)第二編總論、(四)第三編各論と、その說明を進めてゐる。各編における著者の說明は一つの統一的理論を基議として展開されてゐるから、隨時隨所に著者の意見に接することが出來る。しかし著者の立場を簡明に知るには、序論と第一編緒論とが最もそれに適合してゐる。

著者はマールブルヒ學派の哲學殊にコーエンの純粹意志の倫理とスタムラーの法律哲學、更に西洋學派の哲學、殊にリッカートやラスクの認識論と、ラートブルフの法律哲學とに基いて、刑法理論の基礎づけを試みたといふ。ネッカー河畔の古い大學に留學期間の大部分を送られたと聞く著者が、その講壇に立つてゐたリッカートとラートブルフとの個人的感化を受けられたでもあらうことは、著者の一生を決定する模機でなければならない。哲學的背景の弱いわが國の刑法學界において――刑法に哲學的背景が必要であるか否かの問題は暫く別として――著者が新カント派の哲學を以て固めた刑法學の展開を、大成されることを切望しながら、この一文を草した(一九三〇・五・二八)(東京巖松堂發行・定價五圓)

海外モザイク
P Q R

禁酒法案是非

禁酒法案が布かれてゐるからアメリカでは酒が飲めないと考へる樣なドン・キホーテはまさかあるまいが、この有名無實の法案の始末にはさすがのアメリカ人も往生してしまつた。法律である以上破つたものは罰せねばならぬ。所が堂々と議會で「私は酒を飲みます」と宣言する議員が飛び出す有樣。屬行か、廢止か、フーヴアーの大統領の選擧の時もこれが重大な問題になつて、一先づ屬行派のフーヴアーが廢止派のスミスを破つてかたがついたのだが、フーヴアーにいよ/\守れない法律である事が解つてくるともにまた/\この問題は全米の論爭の種となつて來た。從て國民投票と稱して一般から募つてゐる禁酒法是非のリタラリー・ダイゼスト誌の投票は人氣を集めてすでにその日の成績が發表されて血を湧かしてゐるが同誌が一般投票とは離れて別に職業別に募つた投票は面白い結果を示してゐる(五月三日發行同誌記載)

	屬行派	法案改良派	廢止派
銀行家	四一・五〇%	一七・八〇%	四〇・七〇%
牧師	七七・五九%	八・二九%	一四・一二%
敎育者	六〇・四七%	一四・四六%	二四・八〇%
法律家	二八・八五%	一五・五三%	五五・六二%
醫者	三〇・三四%	二〇・六四%	四九・〇二%

どんな階級が例によつて僞善者の滑稽な役割をひき受けて居るか最もひどくこの法律を無視してゐるくせに口ではいゝ加減なことを言つてゐるのは誰だ――そんな解釋は諸君におまかせするとして――愉快なことは醫者が絕對に廢止を主張した事。

小松教授洋行

理學部敎授生物化學の小松茂博士は、來る十五日京都發、シベリア經由で歐米視察の途につくが、氏の洋行は敎授任命後最初のもので、歐米各國の舊知をたづねるはず、歸朝は來春二月ごろの豫定

廣告

前號三の面所載、杉野忠夫氏のブツクレビュー題目は左の如く訂正致します
「誕生期に於ける農村社會學」

風俗研究所長 文學士 江馬務著
新修有職故實
定價金參圓八拾錢 送料金拾八錢　菊版洋裝全一冊 挿畫三百餘頁美本 コロタイプ廿一葉 木版手刷三色版三葉 石版刷三葉
最新刊
有職故實は國文國史研究者藝術家その他一般社會から近時多大なる要求期待されつゝある學問なるに係らず、從來成書が稀で、偶これあるも杜撰若しくは單に概要を記したものに止まり、不可解の爲め攷學の士を惱ますこと久しかつたのである。爰に見る所あり、現今風俗史有職故實の權威者たる著者は多年の蘊蓄を傾倒し、この種の書には必須なる古書・實物寫眞及び難解の色目を原色版・石版・木版を以て挿入すること三百、講述の範圍も官位・容儀服飾・甲冑武器・輿車・飾馬・住居・調度・公武典禮・年中行事・武藝娛樂に至るまで細大洩らさず歷史的而も平明に、興味を中心として敍述されてゐるから、敎科書・參考書は勿論、家庭にも一本を備へられんことを冀望する。

文學博士 植村清之助著
西洋中世史の研究
定價金參圓八拾錢 送料金拾八錢　菊版洋裝全一冊 挿畫四葉頗美本
最新刊
吾人は徒に古代とルネッサンスとの光輝によつて眩惑せらるべきではない。中世に對する因襲的理解をば改造しなければならぬ。本書は中世を以て、暗黑、凝滯、バルバリズムとする謬れるドグマを斥け、歷史發展の間斷なき連續の見地より、古代要素と近代要素との融合渾和する永き道程としての中世をば、正當なる評價の下に置かんとする著である。此の難路に多年荊棘を分けた故著者の貴き信條は、その奇警を忌む重厚なる史風、精到苟くもせざる探索、嚴正なる批判と相俟つて、史的發展の正しき把握に讀者を導くであらう。吾々は之を以て學界不朽の記念的雄篇として、世に薦むる所以である。

京都帝大助敎授 中村直勝著
南朝の研究
定價金五圓五拾錢 送料金貳拾七錢　天金背皮菊版洋裝全一冊 コロタイプ版挿畫廿八枚
重版
不世出の英主後醍醐天皇の高邁なる御理想は何故に破綻を生じたか、楠正成は如何なる根底に基いて古今無雙の忠臣であると斷言し得るか、足利尊氏は果して凶惡な人間かはた信仰ある偉人か、南北兩朝の對立が、その時代の人々をして如何に困惑せしめ焦慮せしめたか、吉田定房や楠正儀は何故に節操を二三にしたか。
其等の疑問を解釋する前に、それ等事象の奧底に、經濟的の素因と思想的な誘因とが必在する事に氣附いた著者は、その闡明に潛心十年の歲月を費した。しかしそれは浪費ではなかつた。更にまた、前年史界を賑はした長慶天皇の御卽位問題に就いては、既往の硏究の不備を抉出し殘された問題を提出し、或は當時の京都並に地方の生活樣式を述べ、轉じては書籍出版の事業にまで言及し、一種の政治史にして經濟史であり、思想史にして人物史であり、所謂文化史の含むよりも廣い意味と範圍とを有する文化史を構成せんとした。
その嚴正なる史料の價値批判と、一種感激に滿ちた熱情ある筆致と、典雅幽寂な裝幀とは、必ずや讀者諸賢の琴線に觸れて共鳴を博する事と信ずる。敢て南朝の歷史に好愛心を有する士、南風競はざりし史實に泣く遊子の淸鑒を待つ
發行所 京都市上京區丸太町堀川 振替大阪四九四九一番 星野書店

●夏帽子大賣出し
麥稈帽子 均一特賣 〇、四〇〇 〇、六〇〇 〇、八〇〇 一、〇〇〇 一、五〇〇 二、〇〇〇
パナマ 壹圓ヨリ二十圓迄
庭球帽 二十錢ヨリ數種
京都帝國大學々友會共濟部指定
マルニ帽子店
東山通熊野神社上ル西側

水の覇權は― 醫學部クルーへ

一艇身半の差で經濟を破る

第廿三回レガッタ

氣づかはれてゐた雨模樣の天氣もカラリと晴れわたり、心地よき初夏の微風は行樂の氣をそゝる、六月一日―この日學友會主催廿三回レガッタは綠を流す瀨田川二千米コースで行はれた、新城總長、山田部長の顏もみえ、紅のパラソル、すがくしいうすぎの紅數點を交へ、戰ひの幕は正九時、法工兩學部のレースによつて切り落された

◇第一豫選

○法學部―工學部
タイム八分一〇秒艇差一シート
經濟學部　獨漕
タイム八分一四秒五分ノ二
○醫學部―農學部
タイム八分四秒艇差三艇身
文學部　獨漕
タイム八分二十四秒五分ノ一

◇第二豫選　スタート二時三十分

○經濟學部―法學部
艇差五艇身
醫學部―文學部
螢谷にて兩艇接觸し再レース、兩度のレースに又も接觸、遂に文學部棄權す
醫學部　獨漕
タイム八分四八秒

理學部棄權す

理學部クルーは突然の事故でこのレースに出場を棄權したが直ちに左の意味の聲明を發表した
理學部クルー一同は對學部レースに必勝を期して、合宿猛練習を續けて來ましたが、三十日朝突然クルーの一員發熱甚だしく出場不可能に陷りました、然るに期日切迫の爲め其の補充の見込立たず、遂に吾等は涙を呑んで參加を斷念せねばならぬ事になりました

◇決勝レース

經濟學部對醫學部の決勝戰は第一コース醫、第二コース經、午後七時、最後の覇を爭ふべくスタートを切つた、夕闇をついてばく進またばく進、力漕又た力漕兩艇息をもつかせぬ大接戰を演じた末、醫學部遂に一艇身半の差でゴールインタイム八分一〇秒

兩軍のピッチ表

	醫	經
スタート	三三	三五
螢谷	三一	三三
柳屋	三一	三三
公園	三三	三三
ラスト	三二	三三

初夏の一夜を陶醉せしめるだらう會費無料、希望者は三條十字屋內同オーケストラ宛申込む事

四月以降の內職紹介

二十三%就職 で先づ好成績

學友會共濟部で四月十日以降五月廿日までに取扱つた求職申込は合計百九十名、之に對し四十五を就職させたから廿三%の割合になる學部別にすると(括弧內が就職者數)

▼法四八(一六)▼經二六(六)▼工二八(六)▼文五一(七)▼醫一五(五)▼理一〇(一)▼農一二(一)

職業は家庭教師の十名を筆頭に、筆生とビラ撒きが各六名、飜譯五名、寫字と製圖が各四名、帶地模樣書き二名、其の他

校正▼帳簿つけ▼封筒書き▼留守居▼廣告文作成▼雜役▼雜誌廣告取▼機械製作手傳が各一名づゝになつてゐる

中華民國濟南へ醫學研究生を派遣

◇……同仁會で二名を募集し 百圓宛の補助金交付

財團法人同仁會では東大、慶應の醫學部學生から約十名を、支那研究醫學醫藥學生として漢口、青島、濟南に滯在研學せしめてゐたが、今度其の範圍を擴張して本學からも募集することになつた、研學醫院は同仁會濟南醫院、差遣人員二名補助金一人百圓づつ、滯在日數は十日乃至廿日以內、滯在中の宿泊及び給養に關しては當該醫院で一切の便宜を計るさうで、學生は研學及び旅行中の日誌に感想を添へ歸後廿日以內に報告せねばならぬ希望者は本學醫學部長の推薦と履歷書とを來る十日迄に提出されたいと

二日から 齒科診療

擔任は小山氏

今學期に於ける本學生の一大福音として期待された健康相談所擴張の一要目、齒科の診療は愈々去る二日から開始されたが、擔任醫員は東京齒科醫學士小山正光氏で、待ちかねた人々が一時に押し寄せ開業早々中々の賑ひを見せてゐる

マンドリン演奏會

十四日夕七時

來る十四日(土)午後七時から、本學マンドリンオーケストラの第十四回演奏會が知恩院內の華頂會館

……で開かれる、當日の曲目は演奏會用組曲(リッター)△ボレロ(リッター)△ハンガリア狂想曲(リッター)△メルヘンヒルダー(リッター)△第一五重奏ニ長調(ボッケリーニ)で、テオドール・リッターの夕と稱してもいゝ程の者だから、リッターの直線的美しさは、だんぜん

前半に善戰して 比島に惜敗

後半疲れ回復ならず

比島對本學蹴球試合は三十一日午後四時十分から甲子園球場に於て極東大會の先蹴で開始された、本學が極東大會の强者たる比軍に對して如何なる戰蹟を殘すかが興味を以て見られたが本學の善戰にかゝはらず實力の差如何ともし難く六對一で敗れたが前半の好接戰に比し後半の不振は本學として惜しむべきことであつた經過次の如し

【前半】開始直後比先づ本學側に攻めたが本學よく守つて入らしめず、本學攻勢盛んに比陣を攻めたが防備固くゴールを得ず中頃まで一進一退を續けるうち比島陣前に混戰野口澤野續いて好蹴したがGKバクザルよく守り好機を逸す二十八分比島LWウガルテ中央の球を得て單身ドリブルで本學フルバックを拔きゴール正面より右端にシュート易々一點を先取、タイム前比島再び强襲してパチエコの一蹴にゴール成り再び一點を擧げ本學回復につとめたが及ばず前半を終る

【後半】本學斷然攻勢に出で比島ゴール右前にせまり轉々する中澤野の好送球を松江左端にヘディングして本學最初の一點をあぐ其後比島盛に攻勢をとり十七分Eウガルテゴール前への球をヘッデイングして見事にゴール、二十分本學フリーキックを得たが高くとんで入らず本學に漸く疲勞の徵あるに乘じ盛に球を奪ひ得意のショートパスを利用して二十二分Eウガルテ右端にシュート本學GKの虛をついて更に一點を重ねなほも餘勢をかつてRWモンフォルト本學バックを拔きシュート、續いてSウガルテまたも一點をあげ六對一にて本學惜敗した

本學		比島
江藤	GK	茂
村口	RF	松一
野蟠	LF	武野
村野	RH	澤小
澤下	HR	西永
野	HC	野加
	LH	奥
	RW	
	IR	
	CF	
	IL	
	LW	

テテコアトアロナサルル　ルルエディオルベイリザ　ガガチレンフダディラグ　ウウチレンモツモメアビパ　SEパヘモン

	前半	後半	合計
本學	8	10	18
GK	5	1	6
CK	3	5	8
比島	11	2	13
FK	2前 0半	1後 0半	3合 0計

研究の資料となった 死者の靈を慰める

十六日は第三十回解剖體祭

例年の如く來る十六日午前十時から、岡崎黑谷本山に於て、本學醫學部第卅回解剖體祭が佛式で施行される、昨年度に於ける解剖屍體は約三百體、一日平均一名弱の割合で累計八千六、七百名の多數に上つてゐる、當日醫學部は講義を休み、附屬病院でも外來患者の診療を休止して職員、學生、看護婦等全員參列して、尊い學術研究の資料となつた人々の靈を慰め、總長初め各宗管長、解剖屍體に關係ある病院長、諸官衙長及び遺族等が參拜燒香するが式後樂友會館に於て午餐會を催す由

力漕空しく― 五艇身の差で敗る

本學のピッチあがらず

三年振りで復活して、東都のファンの血を湧かせた第七回東西兩帝大對抗競漕は久保氏審判の下に廿五日午後五時四十五分隅田川二千米下航コースで擧行、東大は六分四十八秒、五艇身の大差を以て本學を破つた

スタートから大倉カーブまでは兩艇併行して來たがピッチの早い東大が約半艇身リードし、一高艇庫前では一艇身の差、本學力漕したがピッチ更にあがらず言問では水をあげそのまゝ差を大きくして最後のスパートも甲斐なく五艇身の大差で破れた

東大　本學

演奏會の曲目

既報の如く音樂部では明後七日午後七時から市公會堂で演奏會を催すがその曲目左の如し

一、新世界交響曲(二短調)　ドヴォルザーク
二、主題と十二の變奏曲　チャイコフスキー
三、プレリュード　グラズノフ
四、ノクターン　ボロディン
五、リトアニア舞曲　リムスキーコルサコフ
六、セレナーデ　ラハマニノフ

尚九日には大阪朝日會館主催のもとに同館に於ても演奏會を開く筈である

指揮		金子
整調	七番	中場
	六番	井上
	五番	夏目
	四番	木村
	三番	齋藤
	二番	本尾
	舳手	石山
		竹村

菊長宮青金柏松吉高
谷
地川田木光井村田木

REFRESHMENT
YOURSELF.

御好評の コーヒ
冷・溫・五セン
地下室

八十圓で アメリカへ

八十圓でアメリカへ行かれる―といふ耳よりの話がある、一昨年の夏、大野學生主事の紹介で、醫學部學生が二人、大阪商船のS・S・アラビア丸で船醫助手としてアメリカまで行つたが、昨年は申込がおくれてだめだつたので、ことしは是非この擧をつゞけたいと大野主事も力こぶを入れてゐるしこれは休暇の始まるとともに、既に申込者も數名ある

大阪商船のアメリカ行牛カーゴーの船に乘つて、ニューヨークまで行くので、港々では自由に遊べるといふわけ、費用としては食費に八十圓をだすだけだ會社としては、なるべく醫學部學生をと望んでゐるが、他學部でも何とかなるかも知れぬ、希望者は至急大野主事まで申込む事

劍道部 薙刀と試合

劍道部は來る十日午後三時半から武德會で、同會の薙刀部と試合を行ふことになつたが、何しろ本學の劍道が薙刀と試合するのは始めてなので面白い試合をみせるだらう武德會薙刀部には喜多村女史を始め猛者が揃つてゐる由、一般來觀を歡迎する

日本學生大勝す

比・印との對抗陸上競技

日本學生、フイリツピン、印度三國の對抗陸上競技大會は去る一日二日兩日に亘つて甲子園競技場に於て擧行された【第一日】は絶好の快晴に惠まれ、午後二時半開會戰蹟下の如し(四等以下省略す)

▲百十米障害　1藤田(15秒3) 2カシヤ藤田ハードル一個を倒し記錄なしカシヤとの差2米
▲砲丸投　1青野(12米86＝日本學生新記錄) 2ブコイ 3村尾
▲八百米 1矢柴(2分0秒8 2藤枝 3平野ヤタール先頭を持したがラストコース百米で矢柴ラストヘビーでこれを拔きヤタール疲れたのに乘じ、藤枝平野亦五十米邊りにて拔く一二著の差2米
▲二百米　1ゴンザガ(21秒5) 2阿武3 佐々木フランイング四回の後スタート7 米の追風を受けてゴンザガ快走吉岡の今回作つた極東新記錄21秒08を破る
▲四百米繼走　1學生チーム42秒6(織田、阿武、佐々木、吉岡) 2比チーム(ネポムセノ、プンダベラカンダリ、ゴンザガ)第一のバトンタツチ悪く阿武二米リード佐々木差を更に增し吉岡 6米半を引はなし日本及び日本學生、國際學生新記錄を作る
▲走巾跳　1大島(7米73＝國際學生新記錄) 2川岸3中島追風のためコンデツシヨン良好大島空間のホームよく整ひ、日本學生記錄には足らないが國際記錄を破る
▲棒高跳　西田(4米15＝日本及び日本・國際學生新記錄)2淺井・望月3スヘコ　3米80でスヘコ落ち日本のみとなり淺井望月 3米90で落ち、西田4米を二回目に4米15を一回にとび 4米20までバーをあげたが惜しくも落つ 4米20は世界記錄で4米15は1930年最高記錄である

【第二日】は降雨のためトラツク濕潤無風まづ良好の日和、午後一時より開始

▲百米　1吉岡(10秒9) 2阿武 3ネポムセノスタートなれど同時吉岡三十米あたりより快走二著との差一米、阿武、ネポムセノ、ゴンザガ頑張つたが及ばず
▲圓盤投　1久內(36米86) 2メンドサ 3板橋
▲四百米　1アランブラ(51秒2) 2ホワイト 3西ラストの六十米まで西トツプであつたが弱りアランブラ・ホワイト西の前半の疲勞に乘じゴール直前にて拔く一二著の差半米ホワイト極東大會の雪辱をす
▲走高跳　1トリピオ(1米94) 2小野木村 3ソリダ　1米90で小野、木村トリピオ殘る、1米94 にて期待された木村も踏切悪るくバーを落し、小野も空間不均のため不首尾トリピオ獨舞臺となり 1米99迄バーをあげたが遂に落し日本タイ記錄94まで及ぶ
▲槍投　1伊藤(59米23) 2菅沼 3住吉
▲千五百米　1 津田(4分15秒フラツト) 2北本 3角谷、最初から津田北本 角谷、ヌド、ヤタール、オゾアの順で進んだが第三週ゴール前百五十米邊にてヌド、津田、北本角谷と並行し力走したが五十米邊りで後れラストの五十米に入り津田、北本殆ど平行、津田ゴール直前にて北本を拔く差(0・5米) 角谷は5米後れた
▲千六百米繼走　1日本チーム(中島、西、藤枝、浦田) 3分25秒2＝日本及び日本學生新記錄 2比チーム(ホワイト、アランブラ、カンダリ、ゴンザガ) 中島はホワイトを 6米はなし、西また10米の差を保ち、藤枝は12米を續け浦田15米比チームを引はなしてゴールイン

大會の採點法は一等6 二等5 三等4(以下追順)で繼走は一等6、二等3三等1 で結局日本172、比96、印1の大差で日本學生大勝した、なほ本大會の結果により今夏ダルムスタツトで行はれる國際學生競技大會派遣選手の正式決定が行はれることとなつてゐる、過日のインターカレツヂ競技會に不振の本學は此大會に一名も參加しなかつた

弓道部・同志社 大阪商大に勝つ

本學弓道部は廿四日同志社大學と春季定期戰を本學道場で行つたが本學115中同志社106中にて本學勝つ(一人二十射、十八立) 本學選手淺香、中山　今井、野竿、安齋、高山、平田、小川、中野、河津又廿五日には對大阪商大戰を本學道場にて擧行82中對52にて本學勝つ(一人二十射、六人立)本學河津平田、高山、安齋、山口、小川尚同部今學期のスケジユールは

六月十日　對明治大學戰(同)
六月十五日　京都聯盟戰 同)
六月中旬以後　早大、慶大の遠征軍と試合の豫定
七月十九、二十、廿一日高專大會

ラグビーとサツカー 舞鶴へ遠征

來る、七日からラグビーとサツカーの兩チームは、大野學生主事の引率の下に、舞鶴へ遠征、同地で七日、八日の兩日舞鶴機關學校チーム及同要港部チームと試合する

岩前・三島の二選手

カナダ遠征の代表選手に

全日本選拔ラグビーチームのカナダ遠征は愈々決定し、八月二十日橫濱出帆十月十四日橫濱歸著の豫定のもとに渡米、約一箇月に亘つてカナダ西海岸地方に於て六回の試合を行ふことに確定したが、これが出場選手はの選拔試合の結果を參酌して詮衡中であつたが去る二日日本ラグビー協會から代表選手として廿五名を發表したがそのうち本學現選手からはFWの三島實君及びH・B、の岩前博兩君が確定した、尙本學O・B昭和三年度主將F・Wの二宮晋二君は交渉中で補缺として現選手上田誠一郎君があげられてゐる(寫眞向つて左岩前右三島)

ホツケー敗る

對東大戰―廿九日一時

東大3 (1―0、2―1) 1本學

前半　東大先づフリーを得て本學陣內に寄せその後中央を挿んでボール頻に動いたが本學F Wの活躍に絶えず東大ゴールを襲ひ又東大の變則的な深いパスは屢々本學のバックを惱した、二十三分頃東大L・I辻の軟打は本學のスティックに當りボールは宙に浮いてそのまゝゴール不覺の一點を先取さる

後半　十八分頃バックよりのパスを東方F・W持運L・W望月のシュートはキーパーに當つて轉々するところC・F國井突込んでゴール京大一點を返して同點となる、之に元氣を得た本學は斷然攻勢を持し壓迫を續けて居たが二十九分東大陣より强く出た球は東大F・Wに渡り本學ゴール前の混戰となる中東大一點をねぢ込む、三十二分東大R・W高月よりのパスをL・I辻のシュート決り東大更に一點を加へてタイムアツプ合計三對一にて復讐遂にならず再び暗涙をのむ。

東大　高馬蒲辻武大松和鈴中藤
　　　月場生　井野本田木岡原
　　　R R F L L R C L R L G
　　　W I C I W H H H B B K
本學　上山國士望淺鈴積白中森
　　　島本井出月田木良倉村

	東大	本學
F・H	8	4
P・C	1	2
O・C	1	6

排球優勝す

去る一日十時から京都一中で開かれた京都府下男子排球リーグ戰に本學排球部は出場、左の成績で優勝した

本學 2―0 三高
本學 2―0 鐘紡

なほ、來る十五日甲子園で開かれる關西排球選手權大會に出場するため、目下練習中

庭球同大に勝つ

本學對同大庭球戰は廿五日午前十時半より本學コートで擧行、8―3で本學快勝

大學ところ

午後二時、聲、聲、聲、大學の聲はこゝに集中する、交換臺に躍る白魚の手、局線の全部のふさがつた―今、彼女達は全機能をあげて働いてゐる

「大學でございます」「ハイ、一寸お待ち下さい」「只今お話し中です」交換臺には、靑、白、赤のランプがしきりに明滅する、交換孃の手は若鮎のやうなすばしこさで其後を追ふ、耳と眼そして手、彼女たちには一分のすきもない、今は一日の最はんい時だ、交換室は戰場のやうな忙しさだ、本部構內の西南隅にある白いシークな建物、こゝに、四百の通話口から大學の聲が集中するのだ、本學の學內電

完全な設備を 誇る學內電話

加入者四百におよぶ

交換孃からの 註文と苦情と希望

話は、その設備の完全なる點で、他の大學にその比をみないもので あるとのことで、先づそのらんしやうを探ねるとととして、話は十八年前に溯る

大正二年、本學に最初の共電式私設交換が開始せられた、當時の加入者は僅か三十にすぎなかつた

それ以前にも醫學部構內で不完全な私設交換があつたが、共電式のものはこの時が始めてである、當時交換臺一臺一座席、容量五十にすぎなかつた

所が今日では、三百九十五の加入者、三臺六座席の交換臺で徹夜交換をしてゐる

現在の如く、道路を橫切つた他の構內―醫學部、農學部等を統一して完全な學內電話となつたのは大正九年九月、當時の加入者は百八十七であつたが、爾來年々增加して、現在では三臺の交換臺、四百の能力、三百九十五の加入者局線十六回線を有してゐるが、日に數回局線が全部ふさがる有樣、尙增設の要求も相當强い、しかし殘念なことには、之以上は交換臺を增設せねばまかりならぬと監督官廳のきつい御達しだ

現在、交換孃は十五人、一日八時間勞働で、一時間に十分づゝ休憩する

殆ど機械的な交換、しかもかはる彼女たちが取扱ふ一日の通話數は、平均概數で、學內呼數四千、被呼數三千、市內呼數千、被呼數千五百―二千、其外市外通話は今年四月の計算で一箇月私用百九十四圓卅錢(一人五錢乃至廿五錢)公用百七十二圓六十錢に上る、その應接に關しては武中主任を始め細心の注意を拂つてゐるのだが

交換孃から、みなさんへの注文と苦情と希望とをきいてみようではないか

◆交換手は市內の番號をどこでも知つてるかのやうに氏名や屋號だけで申込まれぬやう◆市內通話は直接局へ申込まず學內市內係(〇番)へ申込むこと◆夜間、病舍と看護婦寄宿舍との話が長くて困ります◆學內に限り通話できる電話で局線へつなぐのは是非やめて頂きたい◆法、工、農及び醫、理の各學部はきき分け難い故、なる丈番號で◆外線と賣店、市街と市外、構外と購買、市內と市外は間違ひ易い故外線、市街、市內、構外は必ず「局」と呼ぶこと◆醫院で、內数、內隔、兒隔、耳数、內研等の略語は是非やめて頂きたい◆請求された番號が話中の時「あき次第しらせて下さい」と云つておきながら、しらせると不在になつてゐるのは大變困ります＝寫眞(上)交換局全景(下)勤務中の交換孃(眞中)は武中主任

夏來りなば かつぱの天下

水上大會は十八日に

第六回學內水上競技大會は例年の如く本學創立記念日たる十八日午前九時本學プールで開かれる、競技は學友會各部對抗、學部對抗、アマチュアーの三種に分れてゐるが、その種目は

▲アマチュアー競泳―廿五米、五十米、百米、二百米(以上自由型) 五十米背泳、百米胸泳
▲アマチュアー及水泳部員混合―廿五米潜水、十四米退泳、旗泳跳伸曲跳、五十米橫泳、游泳法
▲對學部カップ爭奪レース―百米の自由型及び背泳、胸泳(以上各部二名宛)二百米リレー(四名宛)
▲學友會各部對抗百米リレー
▲高專、中等學校八百米リレーでアマチュアー競泳出場希望者は武道場脇にある箱の中に申込書を投げ込んでおけばいい

事務室の移轉

健康相談所移轉に伴ふ、舊本館內學生課關係事務室移轉左の如し
舊本館階下北翼奥より、谷內、長崎兩主事、三澤課長(もとのまゝ)、配屬將校、岸主事、尙大野學生主事は階上南翼談話室の隣に移轉した

吸取紙

恒例の學內レガッタは去る一日開かれ、總長、部長、見物人はすべて合しても百名たらず、おまけにレースそのものが實に時間を超越してゐて、定刻よりおくれること、數十分は平氣だ▲で、見物の人々ばかりでなく役員までも退屈でたまらず、どこで探したか釣竿を見つけ出し悠々太公望をきめこむといふ有樣、何しろ暢氣なはなしだが、スピード萬能の今の世に、もつとスピーディーにやつてもよさゝうなもの

新式 獨逸語カード

金港堂編輯部編

(價 美麗 入 二一一五〇〇枚 定價 送料 二圓六十錢 十八錢)

特色

最も卑近且つ重要なる語を主題單語として掲げ用法文例を添へて理解し易からしむ
動詞・形容詞・前置詞に力を入れ其變化、支配等一々懇切に說明し殆ど一種の簡明なる辭書、教科書の觀あり
全カードを通じて餘白の許す限り關係語を列擧し然もなるべく名詞を多く收めカード活用の範圍を大ならしむ
記憶を主眼とし單語の基礎的意義の把握を速かならしむるため譯語は最も必要なるもののみに限れり

全高校に疾風的流行!

特價二圓二十錢(六月末限)

東京神田小川町　金港堂　振替東京八一一五

新學年 特價販賣中

文學士 藤井信吉編

新獨和辭書

三五判 總クロス 一、六〇〇頁(定價三、三〇)特價一・五〇 送料・八〇

編者は吾獨逸語學界の大先覺者、本書は編者畢生の大業として數回の大改訂增補を經、譯語はよく標準的權威を示し引易く形最も手頃にて類書中最も信賴すべきもの益々聲價を高めつゝあり、半價以下の奉仕的特賣を機會に本書の眞價を知られたし

洋服は寺町通丸太町南入 京大共濟部指定 ナガヤ 電上四六三番

闘麻雀コスモポリタン

熊野電停前南半町 久見千鶴子

麻雀 卸小賣

上海自家工場製造 桐箱入 一組 金拾參圓 九拾錢以上 各種在庫豐富 御照會次第見本持參

京都市寺ノ內通大宮東 電話西陣八九七番

三宅商店

森岡齒科醫院

京都河原町今出川西入北側 電話上四七〇六番

京大へ御用の方は 池田屋旅館へ お泊り下さい

場所は大學病院前(電話上三四一番)學生さんの御兩親を歡迎何百人でもお引受いたします。

夏服と夏帽子の 御用命は

營業時間 自午前八時三十分 至午後六時

大丸 京都四條

山本の夏帽子

ストローハット 〇、四〇〇以上
パナマ帽 一、一〇〇
其他種々 一五、〇〇以上

特價品 〇、八〇〇 一、〇〇〇 一、一〇〇

高級學生帽製造 京大學友會共濟部指定

山本製帽所

販賣所・京都市熊野電停前東側
製造部・京都市丸太町熊野西

スポーツの「美的要素」(下)

中井正一

七

私のこれまで解決し來りしものは、スポーツマンが疲勞を感ずるまでの筋肉操行の快感である。どんなフォームであれ清らかな空氣の中で胸をふくらませる快さ、湧くが如き血液の奔騰「生きることを感ずる」意味で、それはすでに快いであらう。それは淨澄な外的自然の中に、整つた身體機能、即、内的自然の完き活動を可能ならしむる意味で、それ自體として快適である人々は疲勞を感じ初むるまで、それを持續し、疲れを感ずると共に道具をまとめて歸つて行く

しかし、そこにある筋肉操作上の快適はスポーツにとつては寧ろ

靜力學

的な快である。それが一度その疲勞を通して立上り初むるとき眞のスポーツの筋肉操作上の快感がそのもう一つ奥の扉を開く時である。それは寧ろ動力學的とも云はるべきであらう。なぜならそこで選手達は動坐標的に内なる敵、「疲勞」と血みどろな闘を開始するからである。

リップスはすでに忍苦の快感を考察してゐる。「忍苦」は「行爲」に對立して、後者の能動的なるに反して、前者は受動的である。この苦痛を感ずる意味での受動的なこの忍苦は、その苦しみを耐へ、持續し、抵抗し、更に打破して耐切るときは、それは能動的なる行爲自身の内面の、その中の更に深い能動者、即ち「行爲の中の行爲」としての忍苦 Erleiden にまで到達す。そしてこの忍苦は、強靱、無氣力、柔弱なるものゝ享受できない處の健全と彈力と興奮性のもつ特權であると云ふ。

この疲勞の痛苦、即、神經組織の計量的報告を超えて、肉體があらゆる抵抗要素をあげて、これに對立する處の「血液をもつてせられたる構成」は、人間の「生きてゐることを感ずる」意味で、最も深刻なるものと云はるべきであらう。

それは疲勞の重力の中に立上り行く血をもつてせられたる建築である。重力が加速度のシュパンヌングである意味で、即自らの動きが自らの抵抗を生み出す意味に於て、自我は、自我の内面に受動としての自我を發見する。そして、それと永遠なる闘爭をなすべく運命づけられてゐることを人の多くの哲學は教へる。人の一つの行爲が、その内面に無限なる群の（否定の否定、更に無限なる否定として●）行爲を胎むこと、その限りない集合、そこに存在の

原現象

がその相を露はにする。一つの「行爲」とその「忍苦」、そこに存在の一角の暴露がある。引ゆがめられた微笑をもつてそれを親しく嘗めるスポーツの内奥の愉悅は、その秘かな喘ぎ、喘ぎ、喘ぎの喜悅である。

一本一本のオールを流さないこと、誤魔化さないこと、それはむしろ、云はるべき言葉ではなくして筋肉によつて味覺さるべきものである。疲切つた腕が尚も一本一本引切つて行くその重き愉悅は、人生の深き諦觀の底の澄透れる無心にも似る。

その無心性は、よき練習と行とどいた技術の訓練に於ては、特殊の「冴え」をもたらすものである。オール或は水に身を委ねた心持、最も苦しいにもかゝはらず、しかも繁に懼げる境、緊張し切つた境に見出す弛緩ともそれは云はるべきものである。あるまゝ思ひ切り行爲して、しかもあるべき則にはまつて行く心よさである。云はゞそれは「コツ」「氣合の冴え」とも云ふべきものである。この境の會得は一回にして、しかも常に或種の香の如し、勇然とゲームの始終にまつはるものであり、忘却の底に念々絶ゆることなく働きかくる處のものであり、そして働きかゝることによつて、その忘却の底に自ら成長し太り、熟し、老いて行くものとも考へられる。その成熟が、即ち「練習」のもつ深い意味であり、訓練、寂び、甘味み、或は慣るゝことの意味でもあらう。即ち「忍苦」は最早その搬棄しか有り得ない極みに於て、何物かに身を依する。その對象は、スポーツに於てはフォームと呼ばる處のものである。

よくコーチが何うしてもフォームを修正できない選手をして疲れ切らしめることがある。その疲勞の中に、しかもオールを引いてゐる選手に對して「そうだ、その氣持を忘れない樣に」と云ふことがある。未だ自らのフォームを自ら意識してゐる中はそのフォームは眞のものではない。云はゞ「岸が氣にかゝつて居る」すでに所謂彼等の「天地嘆冥」只水とオールとになるとき身は自ら水にアダプトして融合して一如となる。云はゞ水の構成的フンクチオンと身體的構成のフンクチオンが、深い關聯の中に連續して無碍なるとき、その中にこそ、成長するフォーム、生身の型がある。それはコーチの百千萬の警告も只

爛葛藤

にして、遂に傳へ得ざる底のものであり、一度その境にはまること即ち、働そのものゝみが告知するところのものである。

その事は、内的自然の技巧としての身體構成がその力學的フンクチオンに於てあらゆる嘘言 Lüge を脱落した時「見てくれ」の粉飾を撤廢した時である。筋肉を主觀とし、筋肉を客觀とする血の構成がそこにその自らのはからひをすてて、純粹なる行爲の中に自らを沒したる時である。そこに「技術美」の最も深き根柢が横はる。

かゝる意味でのフォームは、生身の形式である、生物に於けるモルフエの如く、成長して行く一つの形態である。その意味のカラクテールでもある。極少の疲勞により、極大の効果をあくるべく、筋肉繊維の運動的構成の目的化は、動植物のモルフエに於ける合目的性でもある。それは働けるゲエゲテジーレン（植物化）である。それは濃淡派とは異つた意味での「目的の國の戯れ」でもある、そしてその内面的評價として、自我が、自我の内面に無限に働く自分を見出すその感情はそれは藝術的と云はんより寧ろ藝術を生み出す「力の感情」とも云はるべきであらう「技術美」の内面には「藝術美」よりもつと奥のもつと深い感情が潜まされてゐるとも考へられやう、云はゞ藝術創作の感情に於ける如くもつとより力學的である。

八

かく考へる事で、スポーツの筋肉操作のもたらす快適の内面には、現象の原型に對する深い關聯があるかの樣である。そしてその原型の把握が、感覺の先導によつてなさるゝ事、所謂共通感覺（ゲマインジン）があらゆる存在の隅々より、潜れたる形相 Eidos を見付けること、又それへの信頼が、スポーツの美的要素の深い前提とならなくてはならない。

我々は、すでに過去の思惟方法が形式の名によつて合法則的、即「秩序」を、内容の名によつて生命的、即「働動」の概念を遺して行つた事を知つてゐる。そして、それは、すでに乾いたトルリであり、しかも組合つたトルリであることを知るのである。多くの

藝術論

が、この二つの概念の間に苦んでゐる。この場合、スポーツのフォームの概念は深い新鮮な暗示をあたへるものである。スライヂイングシエル、或はラグビー等の近代スポーツの内面のフォーム並に組織をもつものは、「働動ある秩序」である。或は「秩序ある働動」である。それが、今新しき時代の成長しつゝあるモルフエであると共に、新しき社會並に藝術の形式であり組織である。

その意味で我々は單なる「秩序」であるギリシヤと、單に「働動」であるロマンテイクを後に見ながらより彼方へその進路を向けてゐる「英雄主義より組織主義」へ、云はゞ「腹より腰へ」とスポーツ自身が動いて行くその重き推移の中にすでに感覺が生長するアイドスを育み教へ導きつゝあるのを知るのである。（完）

プロレタリア文學は停止したか

中野重治

あるはれ〳〵と晴れあがつた朝に人があつて「今日はずゐ分と曇つてゐますか？」ときいたとすればそれは隨分とおかしなことであるのではあるまいかと私は思ふ。青空をゆび指して曇天について質問する人の氣心は私にはとうてい分らない。京都帝國大學學友會新聞部が私をつかまへて「プロレタリア文學は停止したか？といふ題目でもつて文章をかけといふのに際して、私はとうてい面喰はざるを得なかつた次第です。

しかし別の方面から考へてみると、さういふ質問が出てもそれほどおかしくないのかも知れない。實際、青空を見上げながら雨を氣づかふといふやうな人々が相當に多い。この五月十八日だかの大阪毎日新聞には近來頻發するストライキの多くがしば〳〵自然發生的に暴動となつて行くといふことに對する大阪府特高課長の悲觀論がのつてゐた。それによると彼がかういふことを言つてゐます。

「大阪府下で起つてゐるストライキは非常の多數にのぼつてゐて、そのうちごく僅かゞ爭議調停法で解決され、殘りの大部分が、調停法の調停をよせつけず勞働者と資本家との正面衝突にまかせられてゐる。さうしてそれらのものゝ多くが工場破壞や工場主襲撃などといふ過激な行動にはしつて、大きな社會不安の種となつてをる。その裏に思想的背景の煽動があるとすると事重大であるので調査してみたが今のところ思想的煽動はないやうだ。しかし、ともかくさうした傾向の見えるとは何とも嘆かはしい次第である云々……」

これは例の、晴れ上つた朝にするどしや降りのための心配であつて、私の考へによれば、大阪府下のストライキの前述のやうな傾向は、社會不安の種子であるどころか、社會安定に行くための缺くべからざる大きな要因なのである。大阪府警察の調査はあきらかに次のことを物語つてゐる。

「產業の資本家的合理化による最近のストライキの頻發は何らかの生やさしい方法ではとうてい鎭壓することが出來ない。それは勞働者と資本家との徹底的闘爭、資本家に對する勞働者側の徹底的勝利による以外の何ものによつても解決されない。さうして勞働者は、對資本家の闘爭を、何らかの調停法、何らかの法廷闘爭によつて戰はうとする古い方法からぬけ出て、闘爭の正にかくあるべき本來的形態すなはち大衆的武力的闘爭の方法を採用して來た。その際何らかの思想的煽動（かういふ馬鹿らしい言葉で警察の諸君は赤色勞働組合のストライキ指導の事實を無意識にインペイしようとしてゐるのであるが）のあるなしにかゝはらず、大衆自ら自然發生的にそこまで來てゐる。」

これは一つのすばらしい「調査の結果」であつて、勞働者の闘爭がかうした風に進んでゐる以上、それをとらへて來ることを本來的職能としてゐるプロレタリア文學に何らかの停止のあり得ないことは言ふまでもあるまい話と思ひます。

しかし　かういつたやうなことがしば〳〵市民階級の目からかくされてゐるといふ事實はある。一つは勞働者農民の闘爭に對する赤色勞働組合、農民組合（それは組合内の革命的反對派によつてなされることがある）の指導がまだ不十分であること、二つはさうした事實がすべてのブルジョアプレスの上で抹殺されてゐること、この二つの事情から問題の激化してゐる狀態が一般小市民階級にまで如實にあらはれて來ないことが非常に多い。例ば東京市電のストライキで、ブルジョアプレスは、東京交通勞働組合の左翼幹部が移動本部をつくつて活動したといふ風に報道したけれども、それは意識的にか無意識的にかついた嘘であつて、その移動本部そのものが爭議賣りこみのためのダラ幹の巣であつたことは闘爭の當事者東京交通の組合員はよく知つてゐる。しかし世間（？）は知らない。だから世間は　この移動本部とは全く別個にストライキ委員會がつくられ、それが大衆の壓倒的支持を受けてストライキを全體としてあすこまで持つて行つたことはなほ更知らない。さうして東京交通革命的反對派の名で激烈なアヂがやられて、そのため今もまだ市電およびバスの各車庫と工場とに正服が散夜してはつてゐることなぞはとんと知らない。農民の闘爭についても同樣である。最近の王番山の貧農の活動などはブルジョア新聞の一行にもあらはれはしなかつたしかしさうしたことが小市民階級の目に映らないといふことは、勞働者農民に取つては問題でないのであつて　ブルジョアプレスが計畫的に問題にしなからうが、プロレタリアプレスはいつも活潑に動いてその通信連絡の仕事をやつてゐる。今日プロレタリア文學が停止したのか……といふやうな突飛な問題が出るのも、一つにはさうしたところに原因があるのであらうと思ふ

勿論このことは、問題がさうした淺墓な理由から出てゐるとしても幾らか突飛すぎる事實。ブルジョアヂアーナルは多くのプロレタリア文學（？）をのせてゐるし、ブルジョアヂアーナリズムも從つて夥しいプロレタリア文學を出版してゐる。だから淺薄な考へから行けば、ブルジョア文學はハンジョウしてゐるのである。

そこでしかし、勞働者農民の闘爭に對する革命的指導力が不足してゐるやうに、プロレタリア文學における革命的指導がひどく不足してゐるといふ問題は　京都帝大新聞の提出した命題とは別個に一つの事實である。大衆の革命化のテムポに比べてプロレタリア文學の革命化のテムポはひどくおくれてゐる。プロレタリア文學がブルジョアプレスによつて配布されるといふやうな變態がある程度まで是認されて通用して來た。ためにプロレタリア文學といふ言葉の中に共產主義的潮流と社會民主々義的潮流とがコキまぜられて提供されて來た。結局するところ、文學の生產と作品の配布とにおいて共產主義的な原則とその具體的な生かし方とが極めて不十分であつたといふことは動かせぬ事實である

四月六日の日本プロレタリア作家同盟第二回大會はその點を最も痛烈に批判してゐる。大會はプロレタリア文學のすべての仕事のなかで同盟がその革命的中心勢力として名實そなはつた方針をとつて行くことを決定して作品の制作とその配布とにおいてボリシエウイキ的攻撃の姿勢に移ることをきめてその仕事に取りかゝつた。問題はさういふ風に進みつゝある。プロレタリア文學は停止したかそれどころではない。さうした質問の出てゐる時それは、地下に逐はれた勞働者運動の本派と手をたずさへてヂリ〳〵と逆襲に移つてゐるのである。我々がこの仕事を成功的にやり通すなら中間の浮動階級から出て來る問題のやうな質問はある程度まで薄らぐかも知れない。しかし「標題」自身についていふならば、さうした標題はいつまでも入れかはり立ちかはり出て來るもので、早い話が、十月革命の日も多くの人人がカクレておどつてゐたのであります。（五月二十日午後）

坂口昂博士三回忌記念事業

本年一月三回忌を迎へた元本學文學部長坂口昂博士追悼の爲め、文學部同僚、門下生、知人等により記念事業がもくろまれてゐる、その主なるものは、一未刊著書の出版、二博士の肖像畫作成、三文學部への研究資金寄附　等で右の中肖像畫は大學と遺族とに一面づつを分つ筈で、寄附は六月中に集金を畢ることになつてゐる

京都博物館本月の出陳物

恩賜京都博物館六月中陳列される豫定のものゝうち國寶は左の十點である

▲仁王經愛茶圃圖一幅（誤歸寺）▲聖德太子勝鬘經講讃圖一幅（西來寺）▲十二天像一双（教王護國寺）▲赤衣釋十大弟子像三幅（禪林寺）▲十六羅漢像十六軸の内（長壽寺）▲佛說淨業障經一卷（吉備由利筆）一卷（石山寺）▲僧最澄入唐牒（通延曆寺）▲金陳目錄一卷（最澄筆）（延曆寺）▲置文一卷（聖寶筆）（三寶院）▲遺誡一幅（叡室筆）（永源寺）

廣告

銘菓　都富士　銀沙灘
其他季節品御用物種々
鎰
贈上はテイーパテイー小御集會に御利用願上候
百万遍電停前
かぎ　菓舗茶寮
電上一七三四番

そのや　そのや
寺町唯一の確正札の店
そのや洋服店
京都寺町御池南入
電話上二二三九番

神經榮養劑
フイチン
適應症
神經衰弱・ヒステリー
記憶力減退・學問緣忌
神經性生殖器衰弱
身體虛弱・病後回復期等
明代ルル頭痛
製健ナル身體
PHYTIN
瑞西バーゼル化學工業會社日本總代理店
發賣元　株式會社　武田長兵衛商店

白靴特價大賣出し
◆均一特價品◆
舶來防水リンネール製
A……七圓五十錢
B……六圓五十錢
C……五圓五十錢
（粗品進呈）
特別奉仕品（スポーツ型）
特價　三圓八十錢
◆其他最新型・豐富品揃◆
半　岡本靴老舗
京都・寺町・竹屋町（電話上③二七〇八）

洋服は住立最親切ナ共濟部指定有本
帝大北門前（電上二六二七）

高文受驗の方へ！
殘された只つた一つの問題は？靜かなるお部屋と安眠とであります
内寺町へ乘替なし　御一泊一圓半二食付
本郷區駒込追分町九三（篠葉町電停前）
旅館・下宿　光明館

琴古流
尺八
百萬遍電停西一丁半
西園寺公邸北
大日本竹道學館本部
振替大阪八三三五九番
京都學生聯盟本部

クスリ　東山藥局
熊野電停前
電上三一四〇

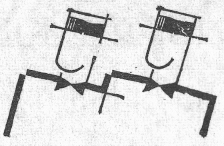
營業科目
◇出張撮影◇引伸修整◇現像燒付◇器械材料の販賣は勿論、その他寫眞に關することは何でも御相談に應じます
帝大・同新聞部御用
佐伯寫眞館
本店・帝大裏門前
電話上四八六九番
支店・出町橋東二丁

白靴値下斷行
ズック四圓より五圓五十錢迄
防水絹リンネル六圓より七圓迄
其他價値なる機械製品も豐富に取揃へて皆樣の御下命をお待ちしてゐます。
京都市鹽小路通京都驛前東三丁目
京大學友會共濟部指定
林清三郎商店
（電下六三一七番）
京都市東山線龍野神社上ル十番地
支店
（電上五七三一番）

洋服は百萬遍電停西
マチバナヤ洋服店
電話上四六七〇番

大學ノート
御學、共濟部御指定により、毎日、法經學部控室二階に出張、確信のある優良品を提供致して居ります
文房具各種
鳩居堂
京都寺町御小路
電話上一六二一〇

來た來た麥帽の世界が來た
此の二人の尖端人は丸善の特價高級麥帽で頭も輕く氣も輕く活動力を百倍して、何れも滿足一〇〇パーセント
丸善特價麥帽
價金　壹圓參拾錢
送料荷造費共　内地三十八錢　台・樺六十錢　靜・支・南七十五錢



東京大阪神戸名古屋
京都市三條通鉄屋町
丸善株式會社
京都支店
横濱仙臺札幌